



大樹のこころ

大好き、大樹寺

本日で1学期が終了しました。4月に本校に赴任した自分にとって、とても新鮮な学期となりました。私たち教員に異動はつきものです。教師の学校間での異動ならば、何の戸惑いもないかと思われるかもしれませんが、それぞれの学校が育ててきた文化や風土には特色があります。この1学期は、大樹寺小の特色・文化はどんなものがあるのかを探る学期となりました。

まず学校を取り囲む風光明媚な光景に魅せられました。格調のある正門。その正面前にそびえ立つ大樹寺の三門。正門前の石畳。多宝塔の佇まい。そしてビスタライン。歴史的一幕にタイムスリップしたかのような景色に、毎日心が癒されました。次に魅せられたのが「家康学習」です。マスコミにも取り上げられましたが、本校の家康学習は誇るに足るものでした。家康の遺訓を誦んじることができる子供たち。校内にある家康関係の展示物。体系化されたカリキュラム。素晴らしいと感心しました。

授業の様子も立派なものでした。自分は授業が大好きで、よく校内巡視をします。本校はきちんとした学びが行われていると思いました。6月に市教委の主事が、学校の様子を視察に来られましたが「この時期に1年生がしっかり授業参加ができていることに驚きました」と言われました。本校には、入学して2か月ほどで学習規律が身に着く風土があるのです。

子供たちはとても「健やか」です。赴任して早々に「挨拶」では「相手の名前をつけてみましょう」と全校児童に伝えたのですが、自分の顔を見ると「坂元干城校長先生、おはようございます」とフルネームで呼んでくれる子もいます。フルネームではなく「校長先生」でいいんですけど(笑)。こうしたところに純粋さ素直さを感じてしまいます。校内巡視をしていると、授業中にも関わらず手を振ってくれる子もいます。放課の時間には、そばに寄って来て手をつないでくる子もいます。可愛く愛嬌がある子が多いと感じました。

先生方も素晴らしい。放課の時間に運動場で子供たちと遊ぶ先生が非常に多い。授業後には保護者に電話をする先生方の姿を見かけます。些細なことでも家庭に連絡して連携を図ろうとする意識が見えます。そして授業研究。より良い授業を行おうと研鑽する教師が大勢います。タブレット端末を活用しての授業にも積極的に取り組み、今や使用回数は「市内でナンバー1」となりました。

本校の特色・文化探しの学期を終えて、自分は大樹寺小が「大好き」になりました。とても実りのある1学期を過ごすことができたと思っています。明日から夏休みに入りますが、2学期の始業式で元気な子供たちに会えることを楽しみにしています。夏休み、ゆっくり休んでリフレッシュしてください。

